脱原発情報

発行 双葉地方原発反対同盟 責任者 石丸小四郎 970 - 8026 いわき市平童子町 3 - 6 II 903

TEL·FAX 0246-25-7737 携帯 090-4477-1641

E-mil: ishimaru19430106@gmail. com ブログ「石丸日記」

漁民・県民・国民の危機感に「馬耳東風」の岸田政権!!

20 日に岸田首相は、慌ただしく福島第一原発の視察を行い 21 日に漁業団体と面会し 22 日の閣僚会議で放水を 24 日と決めた。「反対の立場は変わっていない」のに「一定の理解を得た」と判断??

午後 1 時、汚染水の海洋投棄が始まった。「ま

IAEA からお墨付きをもらったかのような海洋

さか本当に流すとは・ ・・」甲状腺がんを患 った孫を持つ友人がつ ぶやいた。2015年の県 漁連との約束を反故に し、岸田首相は「約束 は現時点で果たされて いないが破られたとは 考えていない」と詭弁 を弄し「例え今後、数 十年の長期にわたろう と政府全体として責任 を持って対応させて頂 く」とも言った。わず か 8 年で約束を反故に した人間を誰が信じる か!多くの市民や団体 が、「汚染水を海に流す な」の抗議行動やスタ ンディングを繰り返し、 中止を求めてきた。

タンク内の処理水は、7 割近くはトリチウム以 外の放射性物質も取り 切れていない。

各地で開催された「国



(資料1) 8月18日首相官邸前で抗議行動



(資料2) 海洋放出中止を求めスタンディング8/24会津



(資料3) 国・東電による海洋放出反対8・27全国行動

・東電との説明意見交換」は「汚染水の海洋放出ありき」の国・東電に住民は憤り抗議をしてきた。

りかねない。一日も早く、汚染水の海洋投棄をや めさせる事だ。

放出問題は、結局のところ日本政府の判断である。 と IAEA は言っている。食べて応援、芸能人を使って安全アピール、被害が出たら補償、結局お金・ 鹿炉はいつ終わるか誰も説明がつかない。

26 日の TBS 報道特集 で、元原子力委員会委員 長代理の長崎大学鈴木達 治郎教授は「純粋のトリ チウム水とは違う。他の 原発も流しているから大 丈夫という説明は間違が っている。モニタリング も、地元の方が信頼でき る第三者機関を設け、監 視する必要がある。ALPS が本当に 30 年間、順調に 動くのか、情報が公開さ れるのか。安心感や信頼 感がまだ得られていない」 と話されていた。海洋投 棄により、日本がロンド ン条約違反の加害者にな

甘い評価!「圧力容器が0.3m沈み込み?」 地震動で重大事故も!

東電は地元住民へのお知らせとして 2023 年 3 月に水中ロボットカメラで撮影した福島第一原子力発 電所の原子炉圧力容器の台座(以下ペデスタル)の写真と概要、7月時点での今後の懸念事項に対する評 価をした印刷物を配布した。しかしその内容は最悪の事態を想定せず、楽観的に過ぎるものである。

(資料 4) は既報 256 号で掲載したペデスタ ルの写真である。厚さ 1.2 mものコンクリート が溶け落ち、全周にわ たり鉄筋が露出してい る様子が見て取れる。

(資料 5) 上の図 ペデス タルは圧力容器を支え る台座部分、この台座 が床面から高さ約 1.3 mまで溶けてしまっ

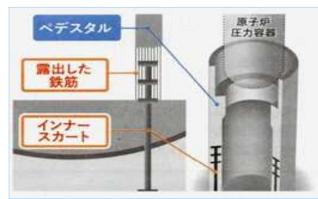
た。この上に乗っている のは 1.000 トンの原子炉圧 力容器 (原子炉の中枢) であ る。東電は圧力容器にあ った燃料などはほとんど 溶け落ちた (メルトダウン) ため 500 トンほどとしてい るがこの重量を支えるコン クリートが溶けてなくなっ たのだから地震による

東電はこれを次のよ うに評価した。「ペデス タルのコンクリート消失 などによる強度の低下 によって原子炉圧力容 器などの上部構造物が 下に沈み込む可能性は 否定できませんが、その

れない。



(資料4) ペデスタルは全周にわたり熔解していた





(資料5) インナースカートで沈み込みを0.3mに抑える?

場合でもインナースカートが原子炉圧力容器等の 支えとなり沈み込みは 0.3 m程度と評価していま す。そのため大規模な損壊に至る可能性は低い、

そして環境への影響はない と評価しています」

驚くべき楽観主義であ る。(資料 4) の写真をもう 一度よく見てほしい。露出 した鉄筋の上のコンクリー トもかなり上部まで溶けて いる。次ページに書くがこ の部分は 800 ℃を超えただ ろう。鉄筋の露出はないが これで強度を保っていると は素人目にも信じがたい。

地震などで鉄筋露出部分 が潰れたときに鉄筋より 強度のあるインナースカー トが原子炉圧力容器とペデ スタルの重量を支えられる という評価はどこから出 てくるのか。そもそもイン ナースカートの役目は重量 を支えるためのものでは

ない。ペデスタルと格納 容器の床面、建屋本体の 床面を一体的に保持する ためのものである。重量 を支えるのではなく横揺 れによる曲げモーメント を受け止め3つの構造物 の分離を防ぐ役割である。 重量を支えるコンクリー トの役割の代替えにな れるはずもない。沈み

込みが 0.3 mにとどまるなどという評価をしてい ては再び重大な結果を招くことになる。次ページ に更なる不安要素を紹介する。

熱に弱いコンクリート 800℃を超えると崩壊状態だ

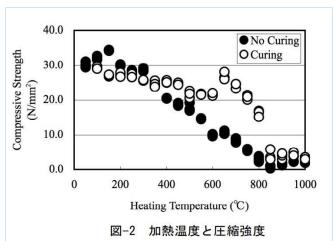
コンクリートは砂や砂利とセメントを水で練っ て作られる事はご存じの通り。固まったコンクリ ートは水和物で結合している。加熱による結合水

の脱水によって内部に 隙間やひび割れが生じ たり、骨材の熱膨張に よるひび割れなどが発 生し強度が著しく低下 してしまう。

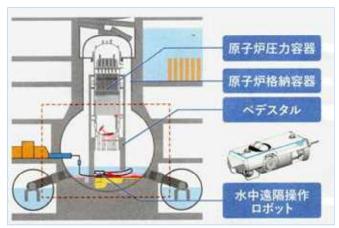
(資料 6) は過熱した 直後の試験●と冷却し 水中養生○した場合の 圧縮強度回復の状況を 示している。650℃で はほぼ 100 %回復して いるが、800 ℃を超え ると 1/6 以下に低下し 回復しない。

1号機では格納容器 の内部温度が 600 ℃を 記録している。ペデス タルの温度を検討する とコンクリートが溶け た 1.3 mまでの範囲は コンクリートの溶解温 度約 1,200 ~ 1,500 ℃ を上回っていたはず

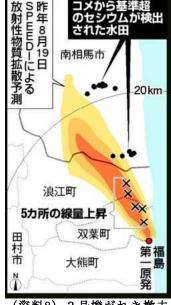
だ。ペデスタル外側は 600 ℃であ ったから薄皮 1 枚残ったであろう がその上部も相当な温度になって いたことは間違いない。上部の原 子炉圧力容器の底は溶け落ちたの だから鉄の溶解温度 1,500 ℃を超 えている、つまりペデスタルの鉄 筋コンクリートは上からも下から も 1,500 ℃を超える熱で加熱され ていたのだ。外側が 600 ℃、内側 が 1,500 度だとコンクリートの中央 付近は1,000 ℃ということになる。 ここは専門家の意見を聞きたいと ころだが、(資料 6) のコンクリー



(資料6)800℃を超えると水中養生しても回復しない



(資料7) 台座の崩壊は放射性物質拡散の重大事故を招く



(資料8) 3号機がれき撤去

圧力容器倒壊で 放射能の再拡散が起こる

トの圧縮強度が崩壊しているあたりに置かれてい たのではないかと危惧する。

東電はインナースカートと溶けたコンクリート

の下端の長さ 0.3 mが座屈 するだけとの評価だ。内部 がグズグズで外側薄皮 1 枚 で建っているペデスタルが 重い原子炉圧力容器と自身 の重量を、地震の加速度を 加えた圧力に耐えられるは ずはないと考えるのが常識 的ではないか。

圧力容器の座屈によって 起こりうることは①圧力容

器を横から支えていた支 持材の破損②横揺れの拡大 による原子炉格納容器の破 損③すでに破損している原 子炉上部の蓋 (518 トン) の 落下④原子炉建屋破損によ る燃料プール冷却水の喪失 ⑤ペデスタル内の放射性物 質の拡散などが想定される が、いずれも深刻な事態を 招く。中でも②③⑤は放射 性物質の環境への拡散が 懸念される。蓋の部分の

最大線量は約 2,000mSv/h という。ペデス タルの中は数分で人間が死んでしまう程 の高線量である。これが飛び散ったらど うなるか。(資料8) 2013 年 5 月~ 8 月に 発生した3号機放射性がれき粉塵排出事 故である。この事故では 20 km先の南 相馬市の米が基準を超えて汚染し、遠く は 59 km 先の宮城県丸森町でも検出され た。東電発表で猛毒プルトニウムを含む 1兆 2250 億ベクレルが飛散したとして いる。さほど線量の高くないがれき撤去 作業でさえこのような事故を起こしてる のである。事の重大さがわかるであろう。

第一原発の敷地は・・ 天文学的数値の放射性物質の山々である! その4

今回は「放射性個体廃棄物」問題を考えてみたい。

2032 年には 78 万 m3 の膨大な量になる!

原子炉建屋など入れれば 100 万 m3 に・・!

②第一原発は、建ててから 50 数年の経年劣化、浜風、塩害、錆、腐食が重なり、建屋に入ることさえ困難な実態にある。

(資料9) にあるように「防護服」「伐採木」「が ナに収納しテントやシート養生をしているだけと

更に(資料10) を見欲しい。敷 地内にある「ス クラップ車両」が 置かれた映像で ある。何平方な あるかは定かで はないが、車一 台との比較から 見れば大変な量 である。この「ス クラップ車両」は 「個体廃棄物」 の中に入ってい るかどうかは判 然としない?本 来、放射性廃棄

物は屋外保管を



(資料9) 78万 m3 と言えば1 55の升に入れて並べれば 780 kmにもなるのだ!



(資料10)

スクラップ廃車の山々である



(資料11)

屋内保管庫10棟の計画中だという

してはならない事になっている。しかも、コンテ 守られている現状では全くない!

言う「ダダ 漏れ」状態 に等しい現 状にある。

(資料11)

の (個) を (個) を (の) を (の) を (の) に (の) に (

しかし 2023 年 「は 「は現ば本のよいは標木年き年見れ出」 2028 をそに? かる。

「敷地境 界線量1 Sv /年」という まが、 おが、 それが が、

世界は急激に変化している! "蓄電池は21世紀の石油"の声が高まっている!

(資料12) のように大手電力 7 社は今年 6 月から 2,000 円~ 5,300 円の値上げをした。我々にとって死活問題である。一方「電力 200 億円をドブに捨てている!」と言う話が持ち上がっている。 $^{(21)}$

「太陽光発電」が使われないまま捨ている!

EV買えばガソリン車1台おまけ付き!!

一般家庭が1ヶ月に使う電気にして200万戸を越える「太陽光発電」の電気が使われないまま捨てられている・・・驚くべき話である。

日本で、最も「再生可能エネルギー」の普及が進む九州電力は今年度「出力制限」という形で、電力需要が少ないない時間帯に作り過ぎた電力を送電網で受け入れられなくなり、その量は最大 7 億 4,000 万km²⁷時にな

(資料12) 電力値上げは死活問題

る見込みを発表した。これだけの電気を 石油火力で発電で換算すると約 200 億円 かかると言う。

「この無駄をどう減らすか?」・・・と同時に「脱炭素」に達成に向けて様々な方策も始まってはいる。

しかし「日本では無理が付きまとうだろう」と言う話を多く聞く・・・。

(資料13) は最近の「経済誌」で「いま世界で起きているのは、次世代自

動車を巡る覇権争 いではなく**電気自 動車 (EV) の蓄 電池を活用するエ** ネルギー戦争だ! 日本は米・欧・中 ・韓に追いつける かだ!」とある。 その合言葉は「**蓄**

電池は 21 世紀の石



欧州 59.8% 中国 60 59.1% 米国 50 43.6% 韓国 40 38.3% 30 日本 20 23.7% 10 30 (年) 2021

(資料14)

2030年の国・地域別EV生産シェア

油である!」と言う言葉なのだ!

ところが (資料14) を見て欲 しい!「2021 年から 2030 年の 国・地域別EV生産シェア」で ある。昨年のEVの日本の「市 場占有率」は1%に過ぎない。

7年後の 2030 年に向かって拍車をかけたとしても中国・欧州は 60 %にもなる。韓国も 40 %近い格差がある。

「世界と日本の違いは何か?」

と問われれば、これまでの政府の支援策が乏しく、EVは①航続距離が短い②充電に時間がかかる③充電スポットがない④ガソリン車に比べて高い・・・と言う認識が定着してきたと見られる。

ところが 2016 年にテスラ (米・自動車メーカー) は航続距離約 300 マル越え (約 480 km) 急速充電インフラの大型公共投資が大 規模に行われ「EVの値

中国では「EV買えばガソリン車1台おまけ付き!」の話題まであるのだ!

世界は大きく変わりつつあるの一端である。

5月にトヨタ自動車は決算説明会で営業利益3 兆円になる見通しを発表。日本企業としては前人

未踏の達成だと言う。一方同社は 2026 年までE V を 150 万 台販売すると言う。 米テスラが 10 年か けて延ばしたのに 3 年で達成する言うの だ。

「トヨタもハイブ リット車(HEV)な **(資** どの内燃機関車からEVに

本気になったのか?」と・・ ・ しかし、2027 年EV構成比が欧州・中国では 50 %、米国も 35 %にも達すると言われている。

トヨタの 150 万台は「ト ヨタグループのビジネスモデ ル (下請け構造) が崩壊の可 能性・・」がささやかれてい る。^(注2)

それだけではない。

(資料15) は「車電池車の

世界のシェアは中・韓で8割」を越え日本はパナソニック8.7%である。ところが左上のグラフは8年前の2015年には51.7%が日本が占めていたというのだ。

こればかりではない!「半導体」は現在の社会では必要不可欠な製品でスマートフォンやパソコンだけでなく給湯器から自動車までほとんどの製品に組み込まれている。今や、半導体不足で自動車も納品遅れが目立っている。

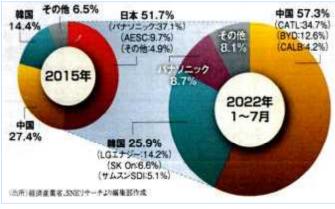
この半導体も1980年代半導体の世界シェアの実 に8割まで日本製が占めていた。優秀な技術者が 多く、しかも安くて品質も良かった!

これらに腹を立てたのは米国で「日本はダンピ

ングしている」と1986年に「日米半導体協定」が 結ばれ一定の価格以上の販売と、国内の半導体の シェアは外国産20%にすることを強いられた。 この厳しい措置に半導体産業が衰退してきた。 更に、日本の労働者の年収が安いため技術者の海

外に渡る人たちが多くなり (資料15) と同様の結果がもたらされた事を知らねばならない。

(資料16) は米国のテス ラが主張するするエネル ギー事業で、「アグリゲー ションコーディネーター」 である。 一般家庭にあ る「太陽光と蓄電池EV」 「バイオマス・風力・太陽 光」を「大型蓄電システム」 で蓄え「バラバラに存在す るエネルギー源を一つの発 電所とてコントロール」す るシステムであると言う。 このシステムをテスラは宮 古島で事業展開中だと言 う。これをもって「黒船来 襲か!」のたとえがあると 言う。「日本では無理か・・・」 と考えたくなる!電力 10 社の体制は不変で全ては「原



(資料15) 車電池車の世界のシェアは中・韓で8割



(資料16) 仮想発電所 (VPP) 仕組み

子力村」が支配しいている。

一方では「低成長」「弱すぎる円」「貿易赤字常態化」「低賃金」(OECD 38 カ国が加盟する国際機関で平均賃金先進国 24 番目)、更に、少子高齢化で"最貧国"になろうとしている。一方では「内部留保をため込んでウハウハ」の人たちがいる!

出典 文献

- ・(資料1~3) 編集部・(資料4) IRID・(資料5) 東京電力 HD
- ・(資料 6)「高温加熱の影響を受けたコンクリートの圧縮強度と弾性係数との関係」・(資料 7)東京電力 HD・(資料 8)朝日デジタル2014/7/14・(資料 9・11)東京電力 HD・(資料 10)東京新聞 2022.5.15・(資料 12)朝日新聞 2023.5.17・(資料 13 ~16)週刊エコノミスト2023.6.13 2022.10.18 (注1)2023.8.6.13「週刊エコノミスト」(注2)2023.5.27「週刊ダイヤモンド」